

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 82.6%

職員の意見

○環境・体制整備

活動するスペースと勉強するスペースに区分けしたり、壁や扉の角にはクッション材を使用することで、安全を確保している。流し台は高さがある為、児童によっては踏み台を使用するなどの対応を行っている。トイレには段差があり、手すりの設置がないが、今ご利用いただいている児童においては不便を感じている様子はない。

○業務改善

日々の業務前のミーティングについては、必ずその日のスタッフ全員で行っている。業務後にも活動の内容などスタッフ同士で話し合いを行っているが、職員のシフトの都合上全員で集まっての開催が難しいことも多いため、共有漏れがないように工夫が必要である。

また、月に一度を目安に、教室内研修を実施している。安全管理や個人情報に関すること等、教室における課題から研修テーマを決めて、定期的を実施している。

○適切な支援の提供

半年に一度の面談だけでなく、送迎時などを活用して保護者との連携を図っている。利用者・保護者のニーズに対して、支援にずれが発生しないように努めている。またスタッフ間でもミーティングの時間を設けて、個別支援計画書を作成している。活動内容についても毎月療育活動を定めるミーティングを行い、土曜日や休日には大がかりな工作や、デリバリー・課外活動も企画している。

○関係機関や保護者との連携

医療機関協定を結んでいる。かかりつけ医は必ず基本情報シートに記入をしていただき、チェックを行っている。保護者とは、送迎時や面談を通して密なコミュニケーションがとれている。学校の先生方とも今日の学校の様子などの伝達などを行っている。児童家庭支援センターや相談支援事業所等の関連機関との連携をとった支援はまだ充分とはいえないため、積極的な働きかけを行っていきたい。

○保護者への説明責任等

毎月ニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定をお知らせしている。今後オンラインでの保護者会や療育参観などを計画していく。

○非常時等の対応

月一回の避難訓練は、地震・火災・水害・不審者等様々なケースを想定し、映像での学習やクイズ形式での学習なども実施している。虐待防止の教室研修を定期的を実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

バリアフリー化はまだ課題が残るが、教室の広さについて8割以上の方から評価をいただくことができた。職員体制や専門性について、9割以上の方からよい評価をいただくことができた。

○適切な支援の提供

活動プログラムについては概ねよい評価をいただくことができ、「子どもが興味をもてる内容を工夫してくださっていると感じています。」とのご意見をいただくことができた。事業所内相談支援や家庭連携支援については説明は受けていたが「まだ相談したことがないので、必要があれば適宜利用していきたい」とのご意見もあった。

○保護者への説明等

保護者の交流の機会については、保護者会の実施に至れていないが、実施を望む意見も聞かれたため、次年度の実施を検討する。児童の様子や課題の共通理解については、多くの方に満足頂いており、送迎時や連絡帳、連携支援などにおいて密に情報共有を行うことができている。

○非常時等の対応

マニュアルの周知については「どちらともいえない」「いいえ」の回答もあり、不十分であったと考える。苦情対応についても「どちらともいえない」との回答があったが、「苦情を述べたくなるようなことはありません。」「苦情の対応はわかりかねます。(苦情を申し立てたことが無いので)」といった肯定的な意見が読み取れた。

○満足度

多くの方に満足していると回答を頂いた。

外出プログラムを取り入れてほしいとの要望があった。コロナ5類移行になったことで長期休みに企画をすることが増えている。今後も職員体制や児童の様子を見ながら適宜検討していきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・室内であっても特別感を得られるような療育プログラムの考案・実施
- ・教室職員全員がバランスよく、質の高い支援を行っていくため教室内研修を実施
- ・教室内ネット環境強化を行う。(Wi-Fi設置場所改善・再購入検討等)
- ・個人情報保護を考慮して、再度利用時の注意点を保護者様に周知していく
- ・保護者会・保護者参観が難しい為、オンラインで保護者参加型の特別療育を実施する
- ・緊急時の対応について、保護者様にも再度共有していく
- ・トイレ周辺の環境を整備し、段差を減らす等工夫をする

○改善できた点・まだ残る課題

- ・長期休みや土曜日には特別感を得られるような課外活動や、工作活動、季節の特別行事などを実施することができた。
- ・職員全員が共通認識のもと支援を実施できるよう定期的な教室内研修に取り組むことができた。
- ・新しいWi-Fiを手配し、ネット環境の強化を行い業務改善につなげることができた。
- ・個人情報保護に関してスタッフ内で研修を行い、細心の注意を払って取り扱っているが、その取り組みについての周知は不十分であったと考える。
- ・保護者会、オンラインでの療育参観については、実施には至らなかった。
- ・緊急時の対応についてはマニュアルの見直しや読み合わせを実施することはできた。保護者周知は不十分のため、次年度は保護者会などでの周知も検討したい。
- ・大型空気清浄機の導入や業者によるエアコン清掃、トイレへの消臭グッズの設置など、各種対策に取り組むことができた。トイレの床も臭いの原因と考えられるため、貼り替えを検討している。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・毎月スタッフで療育活動の案を出し合うミーティングを行っているため、療育活動は充実しており、保護者から好評価を得ている。
- ・送迎時に保護者の方に教室の様子をお伝えしたり、お家や学校での様子を伺うことで連携を密に行うことができている。

○改善点

- ・利用者様に向けた緊急時対応をはじめとした各種マニュアルの周知・説明を徹底して行っていく。
- ・これまでも教室環境の整備には取り組んできているが、立地や建物の構造上の都合からも環境面への配慮は力を入れて取り組んでいく必要がある。引き続き換気や除湿などに取り組み、快適に過ごすための環境作りを行っていく。
- ・地域の施設やイベントへの参加など、地域交流を積極的に行い、開かれた事業所づくりを目指す。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・教室内の設備配置など、環境の整備を行っていく。
- ・緊急対応マニュアルを保護者の方や児童にもしっかり周知を行い、より安心して通所いただける事業所作りに努めていく。
- ・地域に開かれた事業所運営の実現を目指していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・トイレの床の貼り換えを行うことによって抗菌消臭効果を目指す。
- ・緊急対応マニュアルを作成し、教室内にも児童がわかるように貼りだす。また、避難訓練と課外活動を目的として、避難場所まで児童とともに向かう練習を行っていく。
- ・感染対策、安全確保、場所や時間帯の工夫を行い、近隣の公共施設を活用した課外活動を取り入れて、地域との関わりを持つ機会を増やしていく。